

2024年3月末現在

事業所数 20社
被保険者数 1,529人
被扶養者数 1,510人

すいやん

No.161
2024

神戸新聞健康保険組合

神戸市中央区東川崎町1-5-7

☎(078)362-7166

http://kobe-np-kenpo.or.jp

保険収入4700万円減

2024年度健保組合予算 経常赤字1億3700万円

◇2024年度予算概要（一般勘定、経常ベース）

単位：千円

		2024年度	2023年度	前年度比
経常収入		952,803	999,700	-46,897
内訳	健康保険収入	943,667	990,922	-47,255
	保健事業収入	3,800	4,090	-290
	雑収入ほか	5,336	4,688	648
経常支出		1,090,097	1,100,475	-10,378
内訳	事務費	51,375	48,552	2,823
	保険給付費	534,190	528,118	6,072
	納付金	457,807	479,509	-21,702
	保健事業費	41,616	39,247	2,369
	その他	5,109	5,049	60
経常収支		-137,294	-100,775	-36,519

被保険者が急減 料率は維持

神戸新聞健康保険組合の2024年度予算が決まった。組合加入者である被保険者が大幅に減ったことを受け保険料収入が前年比で約4700万円減少。支出では前年を少し上回る保険給付費（医療費）を見込み、1億3700万円の経常赤字を計上して編成した。別途積立金から1億5000万円を繰り入れて最終的な収支のバランスを図る。保険料率は9・5%で据え置く。予算は2月16日の定例組合会で承認された。

収入

保険料率は9・5%で、うち一般保険料率は9・37%、調整保険料率が0・13%。

被保険者数は前年度の決算見込み数1545人に過去5年の平均増減率98・45%から算出した1521人（前年度予算比80人減）。昨秋に実施された早期退職制度の影響などで、近年では例のない減少幅となっている。被保険者の平均標準報酬月額額は52万1000円（同1000円増）、総標準賞与額は5億9329万円（同860万円減）で、いずれも前年度見込み額とほぼ同額の数字。

収入の大半を占める健康保険収入は、これらの数字から育児休業者ら保険料免除者の分を調整、一般保険料率9・37%をもとに9億4366万円（同4725万円減）とした。人間ドックの自己負担などを計上する保健事業収入、利子など雑収入を合わせた経常収入は9億5280万円（同4689万円減）を見込む。

支出

加入者の医療費に当たる保険給付費は5億3419万円（前年度予算比607万円増）。

前期高齢者納付金が2億727万円（同1405万円減）、後期高齢者支援金は2億5053万円（同765万円減）とともに前年を下回った。

主な内訳は家族を含めた療養費が3億5172万円（同357万円増）、薬剤費は1億851万円、家族を含めた出産一時金・手当金が1300万円（同2170万円減）。

保健事業費は4161万円（同237万円増）。諸物価の値上がりを考慮し、人間ドック受診補助については前年並みを計上した。がん検診（子宮がん、大腸がん）の自己負担ゼロ措置は継続する。事務費は5137万円（同

282万円増）。

料率1・68%

介護保険

対象となる40歳以上の被保険者数が1137（前年度予算比13人減）。平均標準報酬月額58万4561円（同1856円減）、総標準賞与額3億889万円（同283万円増）。

国から提示された新年度の

被保険者240人減

被保険者数と保険料収入推移
(2023は見込み、2024は予算数字)

	被保険者数	保険料収入(千円)
2014	1759	879,019
2015	1736	937,278
2016	1722	971,377
2017	1711	970,501
2018	1695	1,025,201
2019	1686	1,029,699
2020	1690	1,020,564
2021	1657	1,007,554
2022	1617	995,354
2023	1567	974,259
2024	1521	943,667

*1 ページ予算表の健康保険収入は保険料収入に国庫負担金収入などを加えた額

この10年 収入落ち込み顕著

グループ事業所の人員スリム化などに伴い、健保組合被保険者数が下降の一途となっている。2014年からの10

年間で約240人減り、保険料率を引き上げた18年以降でみると保険料収入も基本的に落ち込み傾向が目立っている。

る。

健保組合の経常収入の99%を占める保険料収入は、被保険者全員の月々の給与や賞与に一般保険料率9・37%（9・5%から調整保険料率0・13%を差し引いたもの）を掛けて算出される。仮に保険料率や給与水準が変わらなるとすれば、被保険者が1割減ると健保組合の収入も1割少なくなる。

人員のスリム化は高齢化などに伴う医療費、納付金増に並ぶ健保財政の大きな懸念材料といえる。

保険料率、介護保険料率の推移（数字は%）

年度	保険料率		介護保険料率
	5.35	3.65	
2015	9.0	3.65	1.20
2016	9.0	5.35	1.30
		3.65	
2017	9.0	5.35	1.40
		3.65	
2018	9.5	5.6	1.44
		3.9	
2019	9.5	5.6	1.58
		3.9	
2020	9.5	5.6	1.76
		3.9	
2021	9.5	5.6	1.80
		3.9	
2022	9.5	5.6	1.78
		3.9	
2023	9.5	5.6	1.70
		3.9	
2024	9.5	5.6	1.68
		3.9	

*保険料率の右側上段は事業主負担、下段は加入者負担。介護保険料率は事業主、加入者折半の負担。

23年度決算は黒字の見通し

健保組合の23年度決算見込みは、今後の医療費次第で経常赤字となる可能性はあるものの、交付金や補助金などを

含めた最終収支では黒字の見込みとなっている。

23年度はコロナ後の医療費

増を見据えて1億77万円の経常赤字予算を組んでいた。現状では当初の懸念ほど医療費は膨れ上がっていない。

黒字額は例年通り別途積立金に算入し、年度末での積立金は約9億4000万円を予定。24年度の収支不足を補うため、この額から1億5000万円を繰り入れる。

12月 健康保険証からマイナ保険証移行

利用登録で 広く活用を

これまでお使いの健康保険証が今年12月2日で廃止。以降は原則としてマイナンバーカードによるマイナ保険証に代わります。個別の豊富な医療データに基づく診療が受けられるなど多くのメリットがあり、活用をお勧めしています。オンライン資格確認導入済みの医療機関なら今からでも使用できます。



「ポータル」サイトから手続きできます。現行の保険証は廃止後も1年間は使用できますが、再発行はできません。利用登録をせず、マイナ保険証を保有しない方には「資格確認書」を交付。保険証の代わりとして利用できます。

未保有者に資格確認書交付

** マイナ保険証のメリット **

- **正確な情報に基づく医療が受けられる**
ご自身の過去の診療情報、薬の履歴、特定健診の結果などをもとに、総合的な診断や、適切な薬の処方が可能になります。
 - **高額医療費の一時支払いが不要に**
医療費の「限度額適用認定証」を持参する必要がなくなり、医療機関では限度額までの支払いで済みます。
 - **医療費控除の申請が便利に**
保健医療を受けた記録や、処方された薬の記録が一覧で参照できるため、受け取った領収証の保管、提出を省いて確定申告できます。
 - **窓口での自己負担額が減る**
オンライン情報確認により医療機関の業務負担が減ると考えられることから、初診料や調剤料の窓口自己負担が減ります。従来の健康保険証に比べて初診料で6円安くなります。
- *このほか、転職などの際にも同じカードでそのまま医療機関を受診できます。

マイナ保険証を利用するには

マイナンバーカードを持っていない方は、お住まいの市町村などでカードの交付申請手続き（無料）を行ってください。カードを保険証として利用する際には、パソコンやスマートフォンの「マイナポータル」サイトで利用登録が必要となります。セブン銀行のATMでも利用登録が可能です。

<個人での人間ドック予約方法>

- ① 希望する受診施設に申込者が直接連絡
- ② その際、必ず神戸新聞健康保険組合としての予約と伝える
- ③ 予約が取れた場合、確認FAXを健保事務局から送りますと伝える
- ④ すぐに健保組合事務局（078-362-7166）まで連絡
- ⑤ ドック受診申込書に記入の上、事務局に提出
- ⑥ 健保事務局から受診施設に確認FAX送信、正式な予約となる

(注意) 申込書提出の手続きがない場合は人間ドック補助の対象にはならず、受診料は全額、申込者が受診機関に支払うことになります。

◆ **人間ドックが51施設に拡大 個人予約7割に**
人間ドック受診施設がこの春、新たに3か所増えました。芦屋セントマリクリニック、西宮ガーデンズ健診クリニック、京都工場保健会BRIO健診クリニック（尼崎）と契約しました。また長年受診施設だった神戸赤十字病院は4月からドック事業を取り止め、受診施設は計51施設になって

公告

2024年2月16日、第200回組合会が開かれ、同年度の介護保険料率改定が下記のとおり承認されましたので公告します。

【介護保険料】

<改正後> 16.80 / 1000
(2024年3月徴収分から適用)
<改正前> 17.00 / 1000
負担割合 事業主 8.40 / 1000
被保険者 8.40 / 1000

以上

います。施設の一覧はホームページをご覧ください。
予約に関しては、健保加入者が施設に直接連絡する個人予約を推奨してきましたが、スムーズに手続きできることから利用が広がり、いまでは予約の7割にまで普及しました。

2024年春季健康診断日程

神戸新聞本社

5月27日(月)～31日(金)

27日 男性 13:30～16:30 女性 9:30～12:00
 28日 男性 9:30～12:00、15:30～16:30 女性13:30～15:00
 29日 男性 9:30～12:00、13:30～15:00 女性15:30～16:30
 30日 男性 11:00～12:00、13:30～16:30 女性9:30～10:30
 31日 男性のみ 9:30～12:00、13:30～16:30

西神製作センター

5月7日(火)～10日(金)

7日、8日 男性 15:00～17:00 女性 14:30～15:00
 9日、10日 男性のみ 15:00～17:00

阪神製作センター

5月20日(月)、27日(月)

20日 男性 16:00～17:00 女性 15:30～16:00
 27日 男性のみ 15:30～17:00

◆春の定期健康診断案内◆

男女入れ替え時間 女性の午前受診拡大

グループ全従業員を対象にした「2024年度春季定期健康診断」を5月に実施します。今回から神戸本社での女性の午前受診日を1日増やすほか、男性と女性の受診時間の間に30分の「入れ替え時間」を設けます。

昨秋の健診から本社での受診受付の終了は16時半となっています。これまでとは男女別の受診時間が変わっていますのでご注意ください。

例年通り4、5月の人間ドック受診者は、その結果を春の定期健康診断の代用とします。受診結果表のコピーと問診票を健保組合まで提出してください。

2023年秋季健康診断まとめ

◆2023年秋季定期健診受診率

	対象者	受診者	受診率%	23年春%	22年秋%
神戸新聞	750	726	96.8	97.3	96.6
被保険者	719	712	99.0	99.3	98.8
未加入者	31	14	45.2	48.4	47.1
輸送センター	23	17	73.9	87.1	76.0
被保険者	16	16	100.0	100.0	100.0
未加入者	7	1	14.3	63.6	25.0
神戸新聞事業社	60	60	100.0	100.0	98.5
KCC	27	26	96.3	100.0	96.6
健保組合	3	3	100.0	100.0	100.0
ラジオ関西	50	48	96.0	100.0	100.0
サンテレビ	140	118	84.3	86.4	76.4
デイリースポーツ	88	84	95.5	95.4	98.9
サン神戸	18	18	100.0	100.0	100.0
総合印刷	162	134	82.7	84.0	82.7
被保険者	131	131	100.0	100.0	99.3
未加入者	31	3	9.7	13.3	0.0
神戸新聞興産	20	20	100.0	100.0	100.0
総合折込	28	27	96.4	100.0	100.0
文化財団	3	3	100.0	100.0	100.0
厚生事業団	2	2	100.0	100.0	100.0
京阪神エルマガ	-	-	-	90.4	-
地域創造	31	31	100.0	100.0	100.0
新聞会館	13	13	100.0	100.0	100.0
Dスクオリティ	48	48	100.0	100.0	100.0
PAGE	3	3	100.0	100.0	100.0
任意継続	44	30	68.2	50.0	60.6
合計	1,513	1,411	93.3	93.6	92.9

※秋季定期健康診断、京阪神エルマガは実施せず。輸送センターは夜勤者のみ実施。

有所見率54.7% 最悪水準

に行っている。

受診者の総合判定でC(要経過観察)、D(要治療)、E(要精密検査)、F(治療中)となっている人の割合を表す

が受診した。京阪神エルマガは秋の健診を実施せず、輸送センターは夜勤者のみを対象

2023年秋季定期健康診断では、対象者1513人(アルバイトなど未加入者含む)のうち健診を受けたのは1411人で、受診率は93.3%だった。同年春比0.3ポイント減、前年比では0.4ポイント増えた。

健康診断の有所見率推移(2018年春～)

年	春	秋	年	春	秋
18年	54.3	51.9	18年	54.3	51.9
19年	54.7	51.7	19年	54.7	51.7
20年	56.8	52.5	20年	56.8	52.5
21年	57.4	52.2	21年	57.4	52.2
22年	56.9	53.2	22年	56.9	53.2
23年	56.4	54.7	23年	56.4	54.7

検査項目別にみると肝機能(25.8%)、血圧(21.5%)、血糖(10.6%)が前年に引き続き上位を占めている。

事業社、健保組合、サン神戸、興産、文化財団、厚生事業団、地域創造、新聞会館、Dスクオリティ、PAGEの10事業所で受診率100%と

新理事長に柴田氏(神戸新聞社取締役)

常務理事は中島氏、事務長を兼務

神戸新聞社とグループ各社の春の異動に伴い、2月27日付で神戸新聞健康保険組合の大国正美理事長が退任。新理事長に健保組合常務理事の柴田大造・神戸新聞社取締役が選出された。後任の常務理事には中島博史・健保組合事務長が就任した。中島常務理事は事務長を兼務する。

選定議員の交代も次の通りあった。任期はいずれも2025年9月20日まで。(敬称略)

<理事長>

(旧) 大国 正美 = 神戸新聞社常務取締役

(新) 柴田 大造 = 神戸新聞社取締役

<常務理事>

(旧) 柴田 大造 = 神戸新聞社取締役

(新) 中島 博史 = 神戸新聞健康保険組合事務長

<選定議員>

(旧) 桜井 太 = 神戸新聞総合印刷取締役

(新) 坂口 富康 = 神戸新聞総合印刷取締役



組合員に寄り添う健保に 柴田理事長

組合員数の減少と高齢化が、健保運営上の課題と認識

しています。保険料率は今年度、7年連続で9・5%を維持することができましたが、引き続き必要なサービスを維持しつつ、健保財政の健全化に努めます。

健康で暮らすこと、健康で働くことは、組合員共通のテーマです。定期健診、人間ドックの重要性はいうまでもありません。

深夜勤務に長期間従事されている方も多く、疲労やストレスの経年的な蓄積が懸念されます。自らの健康への過信は禁物です。正しい健康情報は提供し、組合員に寄り添う健保組合であり続けたいと思います。

柴田理事長

がん検診の無料を継続

保健事業として実施している子宮がん、大腸がん検診。

23年度は受診者の自己負担を無料化しました。申込者が大腸がん488人(前年度比51%増)、子宮がん170人(同56%増)となり、新規申込者が目立つなど好評だったことから24年度も無料を継続します。

ただし申込後に検査キットを検査機関に送らず未受診と

子宮がん、大腸がん検診の実績推移

		2021	2022	2023
子宮がん	申込者数	125	102	170
	受診者数	112	94	160
	受診率%	89.6	92.2	88.8
大腸がん	申込者数	369	324	488
	受診者数	343	306	468
	受診率%	93.0	94.4	95.9

◆18歳以上を対象に今年も家族調査

健保組合では今年度も7月をめぐりに「家族調査」を実施します。組合の被保険者で18歳以上の扶養家族がいる人が対象となります。

被扶養者の資格がない人が加入したままの場合、国への

なったケースについては、検査キット代や郵送料などの実費(子宮がん15000円、大腸がん10000円)を負担していただきます。

納付金などの算出で健保財政に負担が増えることになりません。ご協力をお願いします。また、この春に子供が就職して勤め先の健康保険に加入した場合などは扶養から外れます。すみやかに被扶養者異動届を提出して、保険証を返却してください。

夏ごろに全加入者に案内を郵送、申し込みがあった場合は自宅へ検査キットを届け、それを検査機関に送り返すことで受診するシステムです。

◆平均標準報酬月額引き続き31等級53万円

昨秋のすこやか第160号で公告したように、健康保険法第47条第2項に規定する神戸新聞健康保険組合の2023年9月30日現在の平均標準報酬月額、31等級53万円(前年も同じ)です。退職後、任意継続者として組合に加入されている方の保険料は、平均標準報酬月額または当人の従前の標準月額のうち、いずれか低い額で算出します。適用は2024年4月から。

保健事業一覧

神戸新聞健康保険組合の「2024年度保健事業」一覧です。健康維持・増進に、ご活用ください。

●疾病予防

種目	対象者	費用の負担	内容
特定保健指導	40歳以上の各種健診受診者の健診結果を基に健保組合が該当者と判断した方	全額健保組合負担	対象者に実施機関等詳細をお送りします。
特定健康診査	40歳以上の被扶養者	全額健保組合負担	実施期間：6月～翌年3月 希望の場合は健保組合へご連絡下さい。
家族巡回健診	30歳以上の被扶養者（男性は近畿地区のみ受診可能）	自己負担額：3,000円（オプション検査は全額本人負担）	被保険者が受ける定期健康診断と同じ内容を受診できます。ご自宅へ申込書と案内を郵送します。
人間ドック	原則35歳以上の被保険者（一部条件あり）・被扶養者（女性は30歳以上から）	自己負担額： 被保険者5,000円 被扶養者6,000円 脳ドックは当日医療機関で差額が必要（オプション検査は本人負担）	契約医療機関で実施。
レディースドック			
脳ドック			
PET検診補助	50歳以上の被保険者	健保組合から60,000円を補助	医療機関の指定はありません。申請用紙に領収書を添えて提出下さると補助いたします。
大腸がん検診	被保険者・被扶養者	原則無料（申し込み後に未受診の場合は実費をいただきます）	郵送による便潜血反応検査と子宮頸がん検査を実施。申込書と案内を自宅へ郵送します。
子宮がん検診			
ブレストケアクラブ	女性被保険者	無料	乳がんの自己触診補助具配布。
家庭用常備薬斡旋	被保険者	全額自己負担（給与引き）	年1回実施。自宅に申込書を郵送します。
メンタルヘルス相談	被保険者・被扶養者	無料	専用の電話回線で、メンタル電話相談・面談を実施。

※ 人間ドック、レディースドック、脳ドック、PET検診、特定健康診査（被扶養者）、家族巡回健診（被扶養者）のうちいずれか1つを年度中1回利用できます。

●保健指導宣伝

種目	対象者及び内容
高齢者向け雑誌郵送	65歳以上の被保険者又は被扶養者に「ばらんす」を郵送します。
育児雑誌郵送	被保険者又は被扶養者が出産された家庭へ月刊誌「赤ちゃん」と、季刊誌「ラシタス」をそれぞれ1年間。父親になった被保険者に冊子「パパ育児のトビラ」をお届けします。
新規加入者向け冊子配布	新規加入者へ社会保険制度の啓発冊子「社会保険の知識」を配布します。
定健結果による健康指導冊子	39歳、49歳、59歳の被保険者に、それぞれの定健結果に基づいて健康づくりのアドバイスとなる冊子「マイヘルスレポート」を郵送します。
医療費通知	皆さんが受診された医療費の内訳を通知します。（奇数月に発行）
ジェネリック差額通知	先発薬品を利用されている方でジェネリック医薬品に切り替えた場合に見込まれる差額をお知らせします。